

## お 礼

謹啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

このたびは、中・四国地方を襲った平成三十年七月豪雨災害に際し、当法人の障害福祉サービス事業所「とよの郷」並びにグループホームに送迎支援のため職員の派遣を賜り誠にありがとうございました。貴法人並びに事業所の支援に対し心からお礼申し上げます。

今回の豪雨は、私達がこれまでに経験したことのない豪雨で、広範囲に土砂崩れや家屋の浸水などがありました。広島県三原市は、一時、二千人を超える市民が避難を余儀なくされるなど深刻な事態でした。私ども法人本部のある大和地区では、障害者支援施設「大和農園」の床上浸水をはじめ、敷地内の石垣や斜面の崩落など数カ所で被害がありました。特に甚大な被害を受けた本郷地区にある障害福祉サービス事業所「とよの郷」は、床上浸水により多くの機器や機材が使用不能になるとともに花の生産施設（ハウス）や園芸資材が水没し商品として使用できなくなりました。最も影響を受けたのは利用者の通勤です。元山陽本線は不通になり、周辺道路は寸断され、自力での通勤が不可能となりました。迂回路での送迎は長時間を要することから、送迎車輛を増便して時間短縮を図り、朝夕の運転手は施設職員が輪番で行う対策を打ち立てました。

そんな折、東京都社会福祉協議会 知的・発達障害部会 災害対象委員会から広島県知的障害者福祉協会をとおして送迎支援の協力が得られるとの情

報をいただき、お言葉に甘えて支援をお受けすることとした次第です。

多くの東京都の法人様から三ヶ月もの長期に亘って送迎支援並びに活動支援のために職員を派遣して頂き、献身的にご支援をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。

賜りましたご支援を無にすることなく、法人役職員一同、引き続き障害のある方の安心・安全な暮らしの実現に尽力して参る所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。

ご支援いただきました職員様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたしますとともに、貴法人の今後ますますのご発展を祈念申し上げお礼のご挨拶とさせていただきます。

謹白

平成三十年十一月吉日

社会福祉法人聖ヨハネ会  
理事長 渡邊 元子 様

富士聖ヨハネ学園  
管理者 遠藤 克彦 様

社会福祉法人みどりの町

理事長 岡田 雄幸